

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

| | | |
|---|--|--|
| (宛 先) 京 都 市 長 | | 平成 29年7月24日 |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都千代田区永田町二丁目11-1 山王パークタワー | | 報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社 NTTドコモ 代表取締役社長 吉澤 和弘 |
| 京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。 | | |
| 環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称 | ドコモグループ全社で環境国際規格「ISO14001」の認証取得 | |
| 適 用 範 囲 | NTTドコモグループにおける電気通信事業および関連サービス ドコモグループ13社（業務委託型子会社12社） | |
| 導 入 年 月 日 | 2008年 1月 1日 | |
| 認 証 番 号 | YKA 4004084 | |
| 基 本 方 針 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した事業の実践 ・環境マネジメントの強化 ・環境コミュニケーションの推進 ・生物多様性の保全 ※詳細は、ドコモHP「ドコモ地球環境憲章」を参照願います。 | |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | 2020年度に向けたNTTドコモグループ環境ビジョン「SMART for GREEN 2020」を制定 <ul style="list-style-type: none"> ・低炭素社会の実現（2008年度より総量10%（12万t-CO2）以上削減） ・循環型社会の実現（全廃棄物合計の最終処分率2%以下） ・生物多様性の保全（あらゆる活動が地球上で繋がり、生物多様性と係り深いことを認識し、事業特性に応じ関係する国内外の活動範囲とその影響を把握し、保全効果が認められる取組を継続的に推進する） | |
| 目標を達成するための取組の内容 | 4つのグループ専門部会（「お客様チャネルの省資源化部会」「設備の省エネ部会」「オフィスの省エネ部会」「研究開発による省エネ部会」）が定めたアクションプランに沿って取り組みました。 | |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | グループ専門部会ごとに設けられたアクションプラン管理表にて進捗管理を行っています。 | |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | 概ね、当初計画どおりに取り組むことができました。 | |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | 法規制／地域条例の順守状況については、毎年度当初に該当判断を行い、年度末にその評価を実施しており、昨年に引き続き、法律違反、及び関係官庁等より指導はありませんでした。 「ISO14001 4.3.2 法的及びその他要求事項」による | |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | 毎年、原則、1回／年マネジメントレビューを実施しているが、弊社マニュアルに従い遂行されており見直しはありません。 「ISO14001 4.6 マネジメントレビュー」 ※2017年度よりISO14001:2015にて取り組んでいます。 | |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。